

Message memo

◇タイトル 『震災から10年を振り返り ～未来に向かって～』

◇聖書箇所 イザヤ43章18節～21節

◇メッセージ 佐藤彰師

◇中心聖句 イザヤ43章18, 19節

18: 先のことに心を留めるな。昔のことに目を留めるな。

19: 見よ、わたしは新しいことを行う。今、それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける。



WITH JESUS

しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、驚のように翼をかけて上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れない。(イザヤ40:30)

Vol.37-11

2021.3.14

コロナを乗り越える！～Jesus Family 先週の活動～

◆3月10日祈禱会 ～震災から10年を迎え～

震災から10年を迎え特に被災地の方々を覚え、お祈りと分かち合いの時を持ちました。神様が私たちの教会のNPO法人、『ラブネイバース』を通して現地支援させて下さった恵みの分かち合いを聞き、再び被災地の方々の痛みを心に刻み祈らせて頂きました。



チーム『NPO法人ラブネイバース』



被災地支援の証しから当時の様子が分かります



震災当時も私たちの教会と共に戦って下さった
韓国からの宣教師、高先生



津波があって、10年たちました。

韓国のダンスグループ『MENTOR』
被災地で私たちの支援活動に加わり助けて下さいました

<Vision> 聖書を土台に若者を育て、世界にリーダーを送り出す教会

JESUS FAMILY CHURCH (ジーザス・ファミリー・チャーチ)

ビジョンセンター 東京都町田市三輪町392 TEL:044-385-2964 URL:www.jesusfamily.jp E-mail: info@jesusfamily.jp

みどり野チャペル 横浜市青葉区すすき野2-6-16 TEL 045-902-7898

JESUS FAMILY CHURCH VISION ～チャーチビジョン～

- ①働き手が少ない “収穫は多いが、働き手が少ない。” (マタイ 9: 35～38)
- ②教会を全地に
“…教会は、…全地にわたり築き上げられて平安を保ち、…” (使徒 9: 31)
- ③Love God, Love people
“『…あなたの神である主を愛せよ。』次にはこれです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』” (マルコ 12: 28～31)

毎週水曜日はお祈り会で祝福ゲット！

●神のみこころに適う祈り Part6●

＝感謝をもって祈る (コロサイ 4章2節、ピリピ 4章6～7節) ＝
私たちの欲しいものや必要でどんなに重荷に感じていたとしても、必ず何か感謝すべきことを見つけることができます。この贖いの愛の中で、天国の約束を目前にしている人は、最も大きな苦しみにあっても、神に感謝する理由があります。

“たゆみなく祈りなさい。感謝をもって祈りつつ、目を覚ましていなさい。”
(コロサイ 4章2節)

EVENTS

- ◆3月14日(日) スペシャルビジョンワーシップ ゲスト: 佐藤彰師
洗礼式(みどり野チャペル)
- ◆3月20日(土) 午前: ジョイキッズ保育園卒園式 午後: HIGS 卒業式
- ◆3月30日(火)～31日(水) オンラインぶつとびキャンプ

Information

●2月～4月 聖山を応援しよう！月間●

ファミリーキャンプや沢山のユース、キッズの救いと成長のために用いられている『聖山高原チャペル』を与えて下さった神様に感謝を表しましょう。

【聖山高原チャペル 献金お振込先】

◆ゆうちょ銀行からのお振込
金融機関名: ゆうちょ銀行 記号: 11180 番号: 10138581
口座名義: 聖山高原チャペル

◆他行からのお振込
金融機関名: ゆうちょ銀行 店名: 一一八 店番: 118
口座種別: 普通 番号: 1013858 口座名義: 聖山高原チャペル

【ジーザス・ファミリー・チャーチ 献金お振込先】

◆礼拝・什一・感謝・車両献金
金融機関名: 三井住友銀行 支店名: あざみ野支店 口座種別: 普通
口座番号: 6730043 口座名義: ジーザス・ファミリー・チャーチ

【車両献金についてのお願い】

お振込みで献金される際に、振込人名の前に『シ』とご記載下さい。例) シ ○○ ○○ (氏名)

祝福タイムズ

Love Neighbors ～震災10年を迎えて～

伝道師 林友子

“あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。”第二の戒めはこれです。『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。』これらよりも重要な命令は、ほかにありません。”

(マルコ 12: 30～31)

私はNPO法人ラブネイバーズのスタッフとして被災地に2度派遣されました。派遣されたのは10年前の3月19日～24日の第一次派遣と、同年3月31日～4月4日の第二次派遣の時でした。当時の被災地は様々な困難に加え、犯罪や問題行為も横行しており、とても日本国内に派遣されている気分ではありませんでした。外の風景もまるで映画の世界でしか起こりえない、と思うほど酷い風景でした。本当に神様の守りと知恵を求め、祈らずには進めない支援活動でした。私にできることは本当に本当に僅かなことでしたが、神様が選んで下さったのには意味があると思い、とにかく目の前の必要、すぐに対応する必要があるニーズに目を光らせ、精一杯奉仕しました。(初期の派遣では、女子は主に物資提供、炊き出し、屋内掃除をしました。)

そして今、10年前を振り返り、つくづく神様と先生が教えて下さった大切な事を胸に刻んでいます。日本にも、世界にも、これからは数々の素敵な出来事と共に、多くの大変な事、悲しいことが起きます。そんな緊急時に大切な事は、慌てふためかず①今自分にできることをすること。(必ず何かできることがある！という信仰を持って)②とにかく出来る限り素早く対応すること。(時すでに遅しにならぬよう)③絶えずニーズを見つける目を持つこと。そして④神の愛で行動したことは必ず実を結ぶ！と信じて行動し続けること。

この被災地支援は、神様の愛が私たちの『行動』という形であらわされる時、必ず実が結ばれることを経験させてくれました。支援させて頂いた方の中に、救われる方も起こされました。聖書を読み始める方も起こされました。本当に素晴らしいことです！

これからも神様の大きな計画の中で、様々なシチュエーションを通して神様が愛を具体的な形で示すように、チャレンジして下さいと思います。皆様と共に、神様のチャレンジに素早く応答し、神様の御業、実りを体験する人生を歩み続けたい！と切に願っております。